

Press Release

報道用資料

2009年12月24日

自動車先進技術の中で消費者の支持を集めるのは、 低燃費を実現できる環境エコ関連装備。普及が加速化しているハイブリッドエンジンにも注目

2009年日本自動車先進技術調査

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、略称：J.D. パワー、代表取締役会長兼社長：アルバート・ラパーズ）は、2009年日本自動車先進技術調査の結果を発表した。

当調査は、自動車先進技術に対する消費者の認知度、興味度および購入意向について調査するもので、41 にのぼる自動車先進技術・装備を対象としている。7回目となる今年の調査は、昨年同様、過去5年以内に新車を購入した一般の自動車（軽自動車を含む）ユーザーで購入決定に関与し購入車を主に運転している人を対象としている。11月中旬にインターネット調査を実施し5,434人から回答を得た。

◆環境エコ関連装備と安全に関する技術が高い購入意向を獲得◆

調査対象の41の先進技術・装備のうち購入意向の上位10位に入ったものは次の通りである（3ページ図参照）。

エコドライブ・モード、回生ブレーキ、エコドライブモニター、後方視野カメラ、自動課金／自動料金徴収システム、ハイブリッドエンジン、低速用追突回避軽減オートブレーキシステム、リアパーキングアシスト、車内監視システム、ワイヤレス接続システム

上位10位の中に、昨年同様、環境燃費関連技術と安全に関する技術が多数見られる。昨年上位にあった燃料電池車、プラグイン電気自動車などの次世代燃料系技術は今年ややランクダウンした。急速に市場に普及しているハイブリッドエンジンは、昨年同様ランク内に留まる。次世代燃料系技術は比較的高価であるが、上位3位は比較的安価で“エコドライブ”を実現できる技術・装備である。これは、ユーザーが得られるベネフィットとコストを考えて選別していることの現われと捉えられるだろう。背景にあるのは、経済環境の悪化と環境問題への関心の高まりである。ユーザーの低燃費実現への強い関心が、低コストでエコドライブを実現できる、これらの技術に対する高い購入意向として顕在化していることがわかる。

次世代燃料系技術については、アイドルストップ機構の認知が90%と昨年に比べて14ポイント高くなっているが、その他の次世代燃料系技術の認知、興味は昨年並みで大きな変化はみられない。購入意向は複数価格を提示して聴取しているが、ハイブリッドエンジンは提示価格の変化の影響を受けにくく、比較的安定して購入意向を獲得できている。これに対し、その他の5技術については提示価格の変化により購入意向が影響を受けやすいので、価格設定には熟考が必要であろう。

安全に関する技術としては、事故を回避するための技術、運転者の運転技術をサポートする技術がランクインしており、これらの安全技術に関するユーザーニーズは安定して高いといえる。

◆ガソリン価格高騰時(2008年)よりも深まるガソリン価格とダウンサイジング、低燃費車検討意向の関連◆

昨年同様、ガソリン価格変化と次回購入車のダウンサイジング意向及び低燃費車検討意向の関連を検討した。その結果、昨年はガソリン価格高騰時であり、ある一定のガソリン価格を契機に次回購入車のダウンサイジングや、ハイブリッド車などの低燃費車検討意向の高まりがみられた。今年度も同様の傾向はみられ、さらにその契機となるガソリン価格の低価格化が認められた。これはレギュラーガソリンユーザーで特に顕著であり、昨年よりも安いガ

ソリン価格で既にダウンサイジングや低燃費車を検討する意向が発生することを意味している。

今後さらに加速するであろう人口減少、少子高齢化、経済環境及び地球環境の悪化は、あらゆるビジネスに負のインパクトを与えている。一方で自動車販売においては、それらに対抗するために政府が打ち出した減税、補助金対策の追い風を受けて、エコカー販売が拡大するなどの新しい展開が望めている。求められるのは、時代のニーズに即した技術革新である。今後の自動車新技術導入にあたっては、ユーザー視点に立った技術を提供することはもとより、短期的にはコストパフォーマンスを追求した上での付加価値として提供することもより重要になってくるだろう。

*J.D. パワーが結果を発表する調査はすべて J.D. パワーが第三者機関として自主企画により実施したものです。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。プライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト www.jdpower.co.jp まで。

<J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。

<ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888 年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズ（NYSE: MHP）は、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界 40 カ国に 280 カ所以上の拠点を有し、2008 年の売上高は 64 億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト www.mcgraw-hill.com まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

クライアント・サービス グループ

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル（〒105-0001）

電 話： 03-4550-8060

F A X： 03-4550-8152

e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

J.D.パワー アジア・パシフィック 2009 年日本自動車先進技術調査 SM

データ通信モジュール (GPS受信機能搭載)

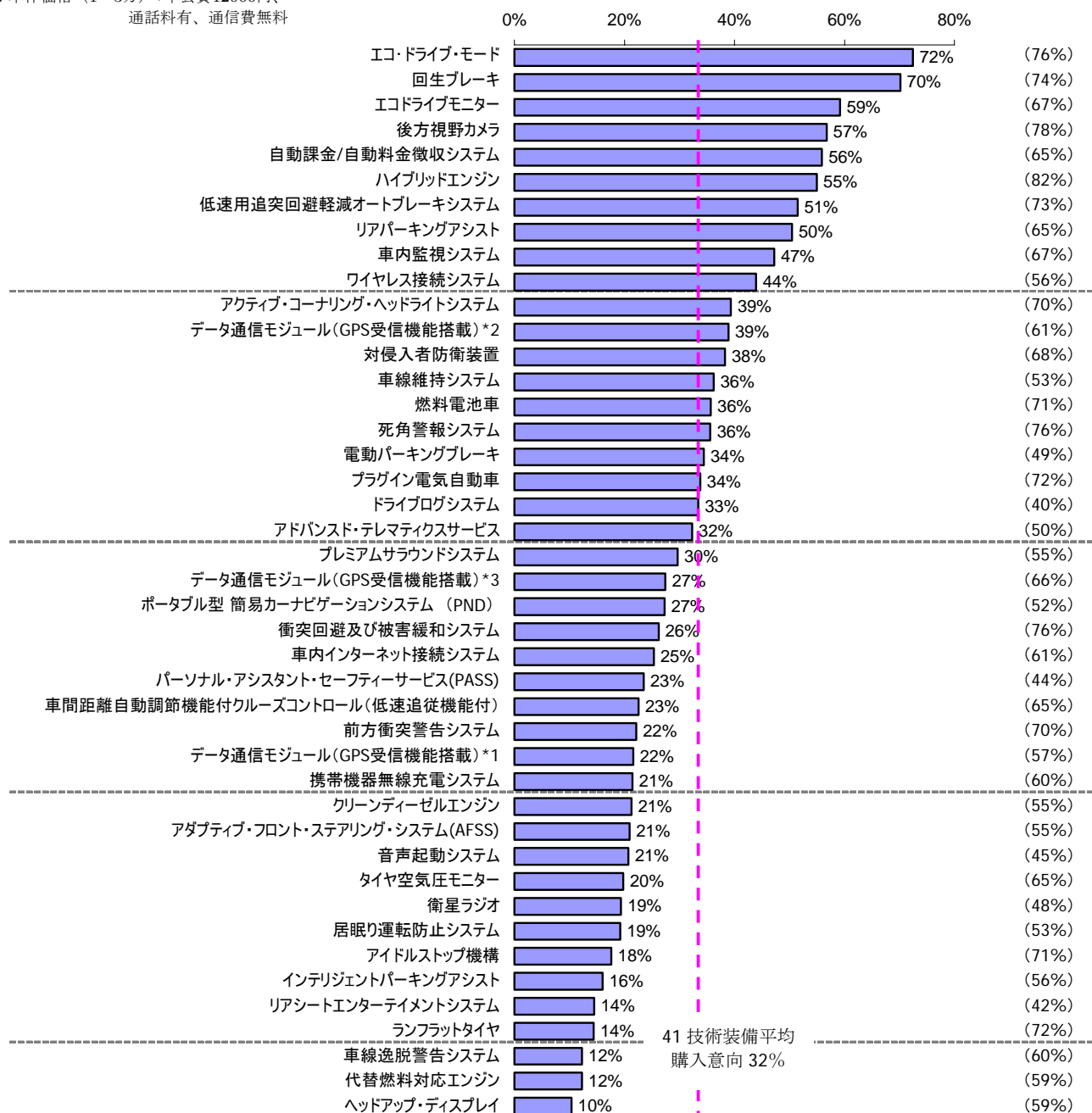
*1: 本体価格 (3~6万) + 年会費12000円、
通話料有、通信費無料

*2: 本体価格 (1~3万) + 年会費無料、
通話料有、通信費有

*3: 本体価格 (1~3万) + 年会費12000円、
通話料有、通信費無料

購入意向 (複数価格提示結果の平均)

興味あり
(価格提示前)



出典: J.D.パワー アジア・パシフィック 2009 年日本自動車先進技術調査 SM

本紙は報道用資料です。J.D.パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告及び販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポートの発行者および出典(J.D.パワー アジア・パシフィック 2009 年日本自動車先進技術調査 SM)を明記してください。